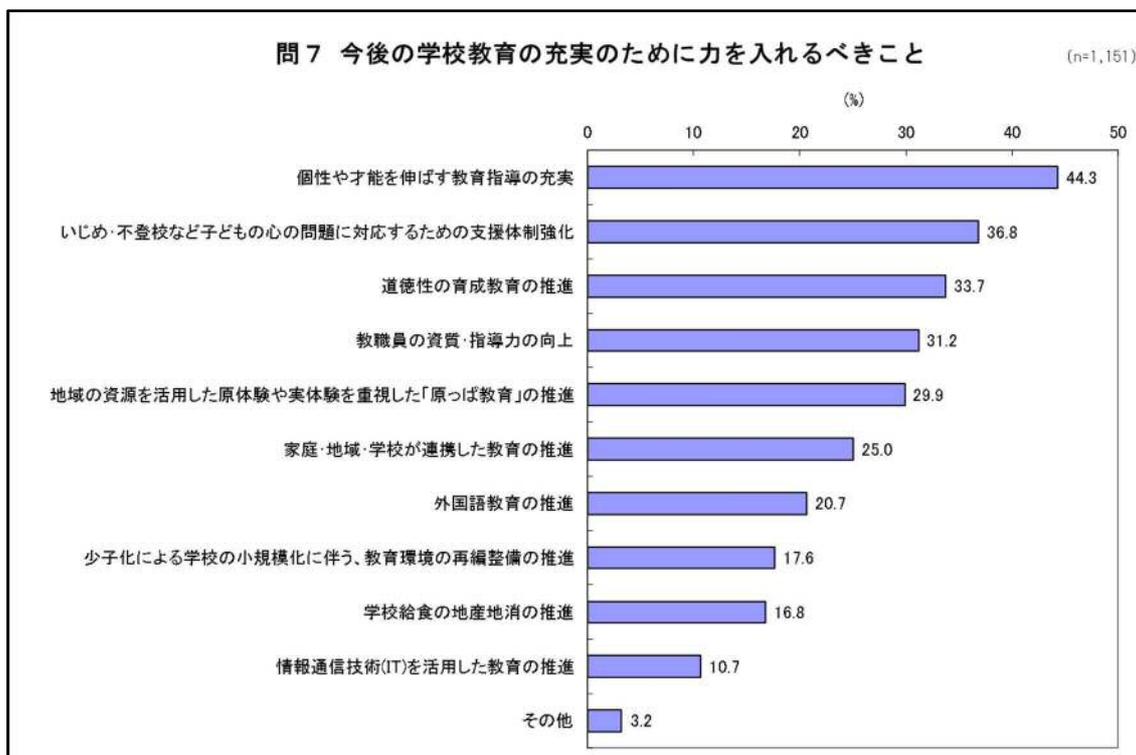


## 【問7】今後の学校教育の充実について（MA）

### ① 回答者全体

- 最も多い回答は「個性や才能を伸ばす教育指導の充実」（44.3%）となりました。次いで「いじめ・不登校など子どもの心の問題に対応するための支援体制強化」（36.8%）、「道徳性の育成教育の推進」（33.7%）と続いています。
- 北杜市の特徴である「原っぱ教育」の推進については、3割近く（29.9%）が更なる充実を求めています。
- その他の回答として「フリースクール活動の充実」、「広い視野に立ち、自ら考え判断できる人を育てる教育の推進」、「子供が放課後に遊べる環境の整備」などがあります。



カテゴリー名	n	%
個性や才能を伸ばす教育指導の充実	510	44.3
いじめ・不登校など子どもの心の問題に対応するための支援体制強化	424	36.8
道徳性の育成教育の推進	388	33.7
教職員の資質・指導力の向上	359	31.2
地域の資源を活用した原体験や実体験を重視した「原っぱ教育」の推進	344	29.9
家庭・地域・学校が連携した教育の推進	288	25.0
外国語教育の推進	238	20.7
少子化による学校の小規模化に伴う、教育環境の再編整備の推進	203	17.6
学校給食の地産地消の推進	193	16.8
情報通信技術(IT)を活用した教育の推進	123	10.7
その他	37	3.2

## ② クロス集計

- 性別では、『女性』が「学校給食の地産地消の推進」、「家庭・地域・学校が連携した教育の推進」を重視する傾向が比較的強くなっています。
- 年齢別では、『20歳代』が「外国語教育の推進」を、『70歳以上』が「道徳性の育成教育の推進」、「いじめ・不登校など子どもの心の問題に対応するための支援体制強化」を重視する傾向が比較的強くなっています。
- 居住年数別では、『10年未満』が「地域の資源を活用した原体験や実体験を重視した「原っぱ教育」の推進」を重視する傾向が比較的強くなっています。

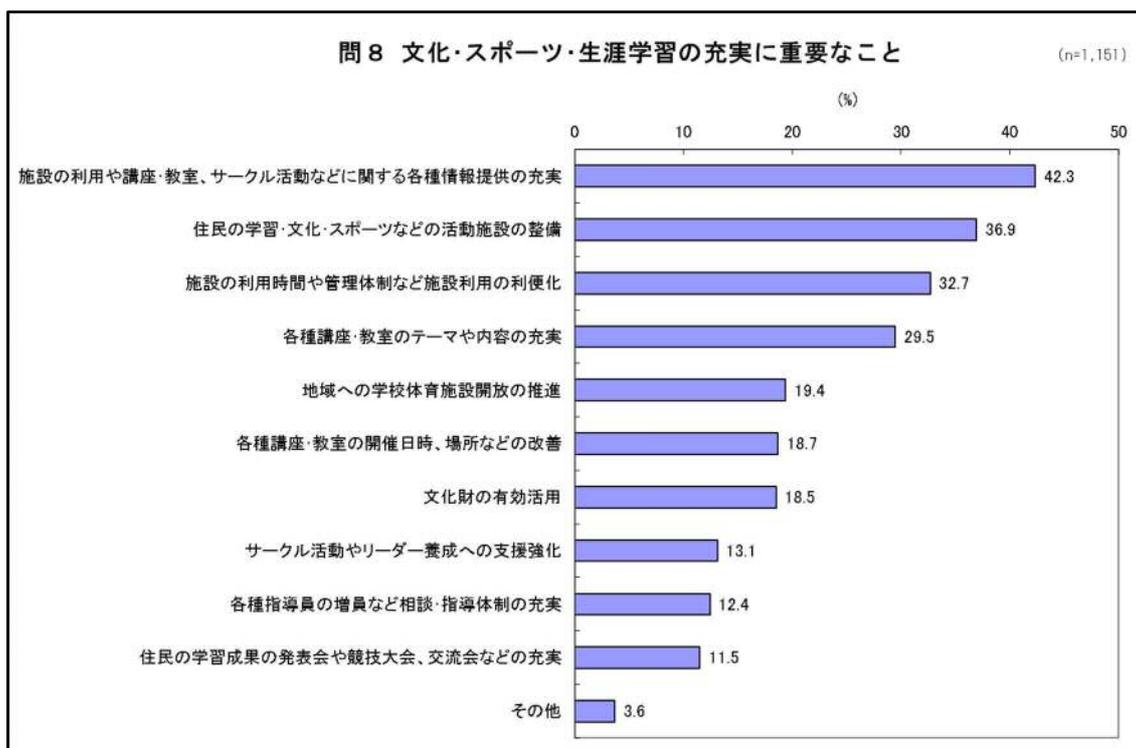
		問7. 今後の学校教育の充実のために力を入れるべきこと												
		合計	個性や才能を伸ばす教育指導の充実	心の問題の支援体制強化	いじめ・不登校など道徳性の育成教育の推進	教職員の資質・指導力の向上	地域の資源を活用した「原っぱ教育」の推進	家庭・地域・学校が連携した教育の推進	外国語教育の推進	少子化による教育環境の再編整備の推進	学校給食の地産地消の推進	情報通信技術（ＩＴ）を活用した教育の推進	その他	無回答
全体		1151	44.3	36.8	33.7	31.2	29.9	25.0	20.7	17.6	16.8	10.7	3.2	4.0
性別	男性	415	44.3	36.1	33.5	31.1	28.9	23.6	21.4	18.3	14.9	12.3	3.9	3.9
	女性	500	42.0	36.8	33.0	33.0	30.2	29.2	19.6	15.6	20.2	9.2	3.2	4.0
年齢	20歳～29歳	92	42.4	37.0	28.3	27.2	22.8	25.0	30.4	22.8	19.6	16.3	3.3	1.1
	30歳～39歳	152	50.7	32.2	28.9	27.6	32.9	25.7	25.7	17.1	21.7	14.5	3.3	0.0
	40歳～49歳	155	46.5	34.2	24.5	31.0	32.9	24.5	25.2	18.1	21.3	8.4	3.2	2.6
	50歳～59歳	193	45.1	36.8	30.6	30.1	28.5	25.9	18.7	17.1	16.6	16.1	4.7	3.1
	60歳～69歳	256	40.6	35.9	37.9	35.5	34.0	26.6	17.2	17.2	16.0	7.4	2.3	4.7
	70歳以上	291	43.3	41.9	41.2	30.6	25.8	22.3	17.5	17.5	12.0	7.2	3.1	7.6
居住年数	5年未満	169	46.2	24.9	26.0	27.2	39.1	25.4	20.7	14.2	31.4	11.8	3.6	4.1
	5年以上10年未満	119	48.7	31.9	24.4	23.5	41.2	26.9	21.0	17.6	19.3	11.8	0.8	4.2
	10年以上20年未満	229	48.5	36.7	27.9	36.2	30.6	20.5	18.8	13.5	14.8	10.0	3.1	6.1
	20年以上30年未満	179	40.8	36.3	34.6	31.8	25.1	21.8	22.9	20.1	12.3	14.5	5.6	4.5
	30年以上	421	40.6	43.9	41.6	32.1	25.2	28.3	20.9	20.9	13.8	8.8	2.4	2.1

- 全体および属性の行ごとに、回答割合が最も高い項目を赤太字で表記しています。
- 全体と比較して強い傾向を示す項目を     、全体と比較して弱い傾向を示す項目を      で表記しています。

## 【問8】文化・スポーツ・生涯教育について（MA）

### ① 回答者全体

- 最も多い回答は「施設の利用や講座・教室、サークル活動などに関する各種情報提供の充実」（42.3%）となっています。次いで「住民の学習・文化・スポーツなどの活動施設の整備」（36.9%）、「施設の利用時間や管理体制など施設利用の利便化」（32.7%）と続いています。
- その他の回答として「各種施設に行く交通手段の充実」、「施設利用料の引下げ」、「施設を気軽に利用できるようにする」、「自然を生かしたトレッキングコースの整備」などがあります。



カテゴリー名	n	%
施設の利用や講座・教室、サークル活動などに関する各種情報提供の充実	487	42.3
住民の学習・文化・スポーツなどの活動施設の整備	425	36.9
施設の利用時間や管理体制など施設利用の利便化	376	32.7
各種講座・教室のテーマや内容の充実	339	29.5
地域への学校体育施設開放の推進	223	19.4
各種講座・教室の開催日時、場所などの改善	215	18.7
文化財の有効活用	213	18.5
サークル活動やリーダー養成への支援強化	151	13.1
各種指導員の増員など相談・指導体制の充実	143	12.4
住民の学習成果の発表会や競技大会、交流会などの充実	132	11.5
その他	42	3.6

## ② クロス集計

- 性別では、『女性』が「各種講座・教室のテーマや内容の充実」、「各種講座・教室の開催日時、場所などの改善」を重視する傾向が比較的強くなっています。
- 年齢別では、『20歳代』、『40歳代』が「住民の学習・文化・スポーツなどの活動施設の整備」の回答割合が最も高いです。また、『50歳代』、『60歳代』が「各種講座・教室のテーマや内容の充実」を重視する傾向が比較的強くなっています。
- 居住年数別では、『10年未満』が「各種講座・教室のテーマや内容の充実」を、『20年以上』が「施設の利用時間や管理体制など施設利用の利便化」を重視する傾向が比較的強くなっています。

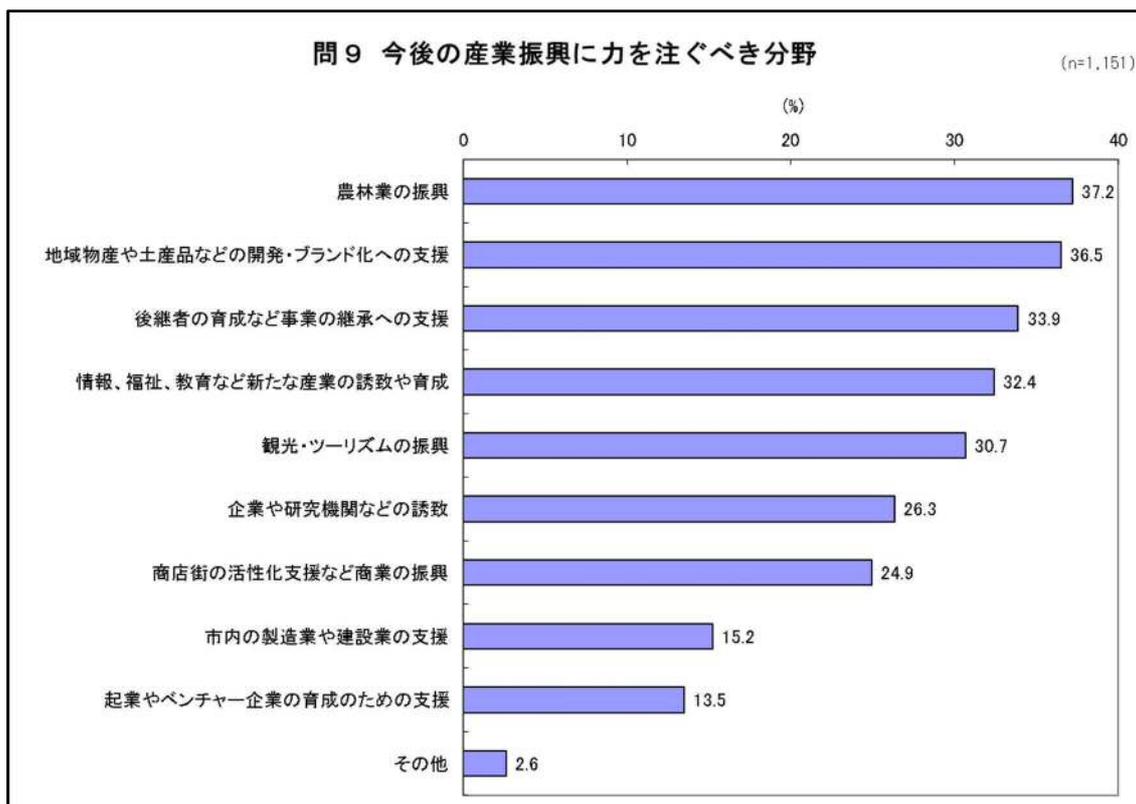
		合計	問8.文化・スポーツ・生涯学習の充実に重要なこと											
			施設利用や講座・教室など各種情報提供の充実	学習・文化・スポーツなど活動施設の整備	施設の利用時間や管理体制など施設利用の利便化	各種講座・教室のテーマや内容の充実	地域への学校体育施設開放の推進	開催日時・場所などの改善	文化財の有効活用	サークル活動やリーダー養成への支援強化	各種指導員の増員など相談・指導体制の充実	住民の学習成果の発表会や競技大会などの充実	その他	無回答
全体		1151	42.3	36.9	32.7	29.5	19.4	18.7	18.5	13.1	12.4	11.5	3.6	6.6
性別	男性	415	40.7	40.2	30.6	25.8	20.2	14.5	18.6	15.7	14.0	11.6	4.6	6.3
	女性	500	44.0	33.8	32.0	34.0	18.2	21.4	18.8	11.4	9.6	11.4	3.2	6.6
年齢	20歳～29歳	92	41.3	50.0	32.6	31.5	23.9	13.0	12.0	8.7	12.0	19.6	2.2	1.1
	30歳～39歳	152	40.8	36.2	30.9	28.3	24.3	20.4	15.8	13.2	12.5	11.2	5.3	2.6
	40歳～49歳	155	32.3	36.8	31.0	29.7	29.7	24.5	23.9	11.0	10.3	9.0	3.9	5.2
	50歳～59歳	193	42.5	32.1	32.1	37.3	14.0	17.1	25.9	10.4	9.8	9.8	4.1	4.1
	60歳～69歳	256	51.6	33.6	30.9	35.2	17.6	23.4	18.0	13.7	11.7	8.6	2.7	5.5
	70歳以上	291	40.5	39.2	36.1	19.2	15.1	13.4	15.1	16.5	15.1	14.1	3.8	13.7
居住年数	5年未満	169	45.0	33.7	22.5	40.8	18.9	20.1	20.7	11.8	13.6	11.8	5.3	5.9
	5年以上10年未満	119	47.9	39.5	29.4	41.2	18.5	16.0	17.6	10.1	8.4	9.2	4.2	5.0
	10年以上20年未満	229	42.4	34.5	24.9	31.4	16.2	15.3	17.9	12.2	13.1	7.9	3.5	9.6
	20年以上30年未満	179	36.9	40.8	39.1	25.1	21.2	17.9	18.4	10.6	12.3	12.3	3.4	5.6
	30年以上	421	42.8	37.1	38.5	23.5	20.9	20.0	18.1	15.4	12.8	13.8	3.3	5.9

- 全体および属性の行ごとに、回答割合が最も高い項目を赤太字で表記しています。
- 全体と比較して強い傾向を示す項目を  、全体と比較して弱い傾向を示す項目を   で表記しています。

## 【問9】今後の産業振興について（MA）

### ① 回答者全体

- 最も多い回答は「農林業の振興」（37.2%）となっています。次いで「地域物産や土産品などの開発・ブランド化への支援」（36.5%）、「後継者の育成など事業の継承への支援」（33.9%）と続いています。
- その他の回答として「伝統文化のブランド化」、「医療機関の誘致」、「マクロビオテックに関連する分野」などがあります。



カテゴリー名	n	%
農林業の振興	428	37.2
地域物産や土産品などの開発・ブランド化への支援	420	36.5
後継者の育成など事業の継承への支援	390	33.9
情報、福祉、教育など新たな産業の誘致や育成	373	32.4
観光・ツーリズムの振興	353	30.7
企業や研究機関などの誘致	303	26.3
商店街の活性化支援など商業の振興	287	24.9
市内の製造業や建設業の支援	175	15.2
起業やベンチャー企業の育成のための支援	155	13.5
その他	30	2.6

## ② クロス集計

- 性別では、『男性』が「観光・ツーリズムの振興」を、『女性』が「商店街の活性化支援など商業の振興」を重視する傾向が比較的強くなっています。
- 年齢別では、『20歳代』が「観光・ツーリズムの振興」の、『70歳以上』が「後継者の育成など事業の継承への支援」の回答割合がそれぞれ最も高く、それ以外の年代では「地域物産や土産品などの開発・ブランド化への支援」の回答割合が最も高くなっています。
- 職業別では、『公務員』、『会社員・団体職員』、『派遣・契約・嘱託など』、『パート・アルバイト・内職』、『主に家事・育児をしている』が「地域物産や土産品などの開発・ブランド化への支援」の回答割合が最も高いです。また、『自営業』が「起業やベンチャー企業の育成のための支援」などを、『派遣・契約・嘱託など』が「市内の製造業や建設業の支援」を重視する傾向が比較的強くなっています。

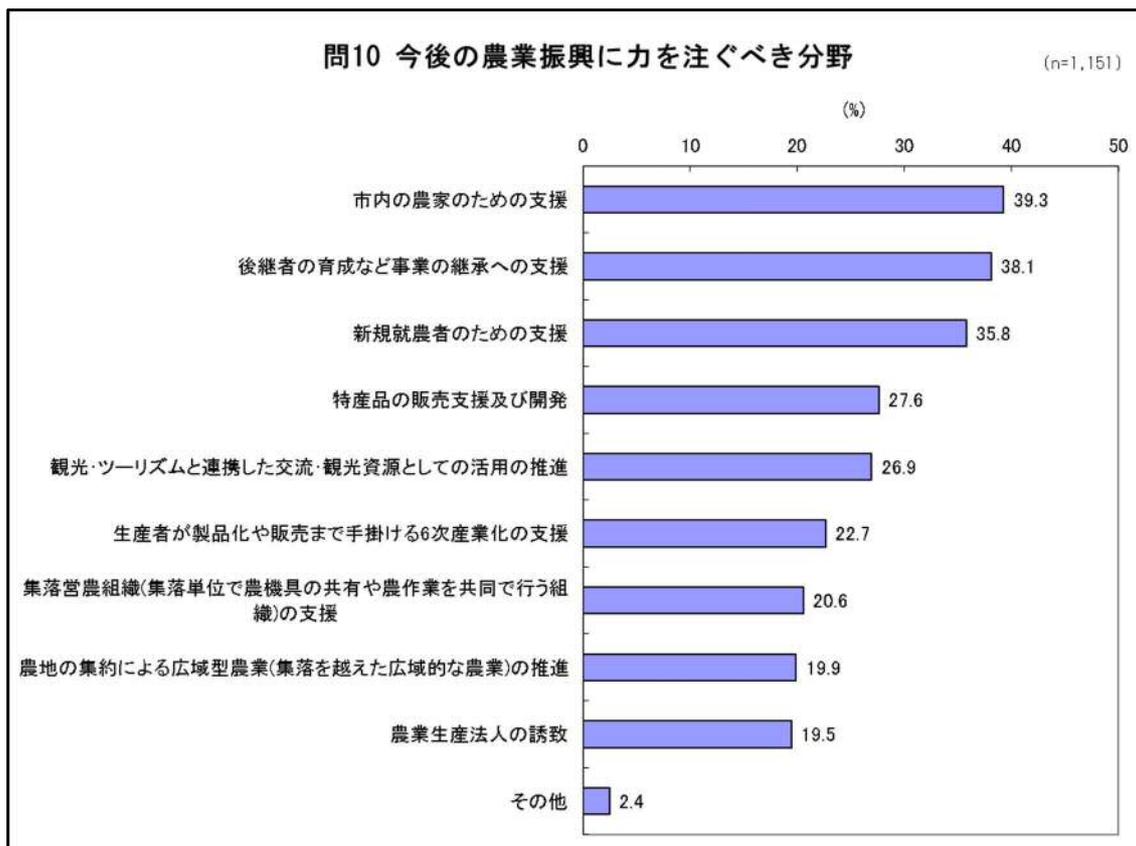
		問9. 今後の産業振興に力を注ぐべき分野											
		合計	農 林 業 の 振 興	地 域 物 産 や 土 産 品 な ど の 開 発 ・ ブ ラ ン ド 化 へ の 支 援	事 業 の 継 承 へ の 支 援	情 報 、 福 祉 、 教 育 な ど 新 た な 産 業 の 誘 致 や 育 成	観 光 ・ ツ ー リ ズ ム の 振 興	企 業 や 研 究 機 関 な ど の 誘 致	商 店 街 活 性 化 支 援 な ど 商 業 の 振 興	市 内 の 製 造 業 や 建 設 業 の 支 援	起 業 や ベ ン チ ャ ー 企 業 の 育 成 の た め の 支 援	そ の 他	無 回 答
全体		1151	37.2	36.5	33.9	32.4	30.7	26.3	24.9	15.2	13.5	2.6	4.8
性別	男性	415	40.7	37.8	30.4	29.4	34.5	29.4	20.0	16.4	15.7	2.9	4.1
	女性	500	36.4	36.8	36.2	32.6	25.0	23.4	28.6	14.8	13.0	2.6	4.8
年齢	20歳～29歳	92	30.4	34.8	28.3	30.4	35.9	23.9	32.6	17.4	10.9	3.3	1.1
	30歳～39歳	152	39.5	42.8	30.3	28.9	37.5	23.0	25.7	17.1	15.1	2.6	1.3
	40歳～49歳	155	35.5	39.4	30.3	26.5	37.4	22.6	20.0	20.6	15.5	3.9	3.2
	50歳～59歳	193	34.7	39.9	26.9	29.5	34.2	30.6	23.3	13.0	14.5	3.6	4.1
	60歳～69歳	256	37.5	39.1	34.8	33.6	30.9	32.0	23.8	14.1	14.5	0.4	4.3
	70歳以上	291	39.9	27.8	44.0	38.1	19.2	23.4	26.8	13.1	10.3	3.1	9.3
職業	自営業	164	47.0	34.8	39.0	32.9	31.1	21.3	23.8	11.6	20.7	1.8	3.7
	専門的職業(医師・弁護士など)	19	26.3	31.6	42.1	36.8	31.6	26.3	31.6	15.8	5.3	5.3	5.3
	公務員	66	34.8	50.0	33.3	25.8	36.4	27.3	27.3	19.7	12.1	7.6	1.5
	会社役員・団体役員	37	37.8	27.0	29.7	29.7	35.1	32.4	16.2	18.9	10.8	5.4	5.4
	会社員・団体職員	219	34.2	41.1	27.9	29.2	36.1	29.2	20.1	17.4	14.2	2.3	0.9
	派遣・契約・嘱託など	35	31.4	42.9	28.6	28.6	42.9	40.0	25.7	28.6	14.3	2.9	0.0
	パート・アルバイト・内職	152	37.5	42.1	30.9	28.9	32.2	21.1	34.2	18.4	9.9	1.3	2.6
	学生	13	30.8	15.4	23.1	30.8	30.8	46.2	30.8	23.1	15.4	0.0	7.7
	主に家事・育児をしている	105	37.1	37.1	35.2	32.4	21.9	29.5	26.7	9.5	19.0	3.8	4.8
	無職	273	35.2	28.9	37.0	36.3	26.4	27.1	23.4	12.1	11.0	1.8	9.9
	その他	47	38.3	42.6	46.8	40.4	21.3	19.1	29.8	19.1	6.4	0.0	6.4

- 全体および属性の行ごとに、回答割合が最も高い項目を赤太字で表記しています。
- 全体と比較して強い傾向を示す項目を、全体と比較して弱い傾向を示す項目を で表記しています。

## 【問10】今後の農業振興について（MA）

### ① 回答者全体

- 最も多い回答は「市内の農家のための支援」（39.3%）となっています。次いで「後継者の育成など事業の継承への支援」（38.1%）、「新規就農者のための支援」（35.8%）と続いています。
- その他の回答として「有機農業への転換支援」、「鳥獣害対策への支援」、「地産地消の推進」、「農業の初歩的な知識や技能を教える機関の設置」などがあります。



カテゴリー名	n	%
市内の農家のための支援	452	39.3
後継者の育成など事業の継承への支援	439	38.1
新規就農者のための支援	412	35.8
特産品の販売支援及び開発	318	27.6
観光・ツーリズムと連携した交流・観光資源としての活用の推進	310	26.9
生産者が製品化や販売まで手掛ける6次産業化の支援	261	22.7
集落営農組織(集落単位で農機具の共有や農作業を共同で行う組織)の支援	237	20.6
農地の集約による広域型農業(集落を越えた広域的な農業)の推進	229	19.9
農業生産法人の誘致	224	19.5
その他	28	2.4

## ② クロス集計

- 性別では、『男性』が「農地の集約による広域型農業(集落を越えた広域的な農業)の推進」、「観光・ツーリズムと連携した交流・観光資源としての活用の推進」、「集落営農組織(集落単位で農機具の共有や農作業を共同で行う組織)の支援」を重視する傾向が比較的強くなっています。
- 年齢別では、『30歳代』、『60歳代』が「新規就農者のための支援」を、『50歳代』、『70歳以上』が「後継者の育成など事業の継承への支援」の回答割合が最も高いです。
- 居住年数別では、『10年未満』が「新規就農者のための支援」を、『30年以上』が「集落営農組織(集落単位で農機具の共有や農作業を共同で行う組織)の支援」などを重視する傾向が比較的強くなっています。

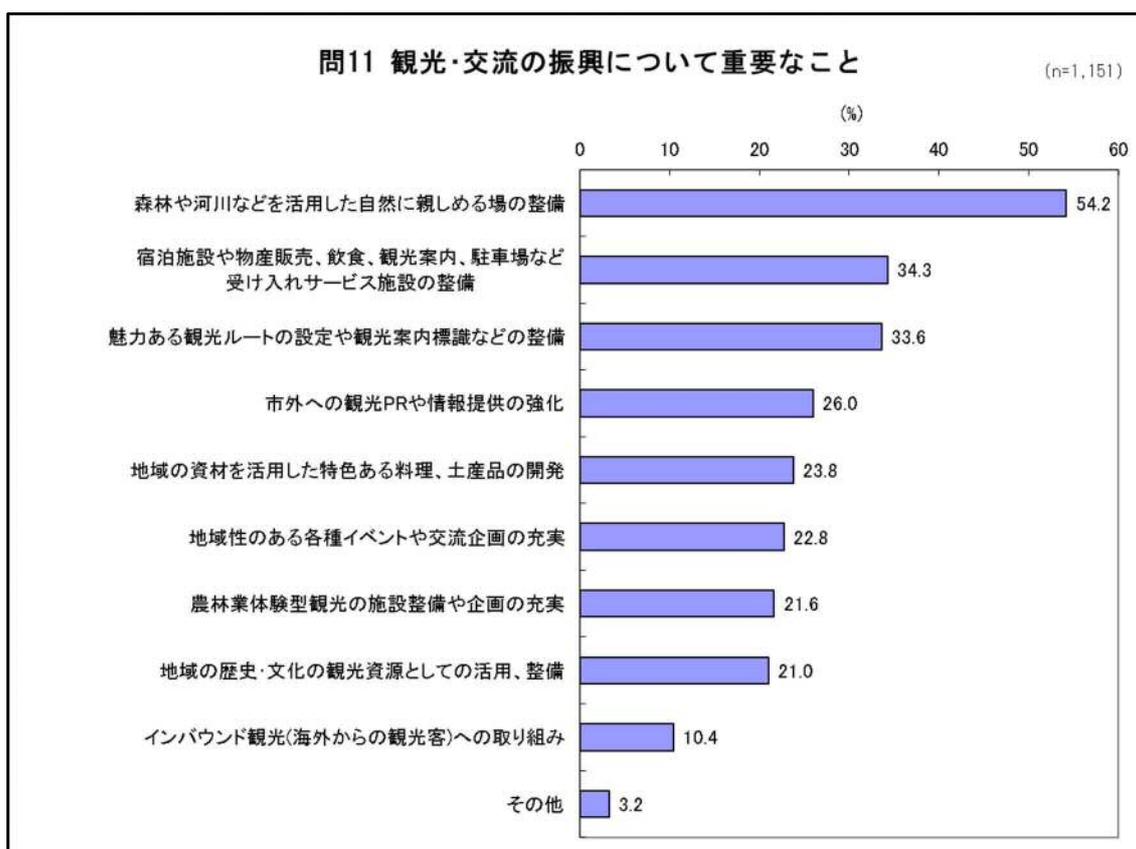
		問10. 今後の農業振興に力を注ぐべき分野											
		合計	市内の農家のための支援	後継者の育成など事業の継承への支援	新規就農者のための支援	特産品の販売支援及び開発	観光と連携した交流・観光資源としての活用の推進	生産者が製品化や販売まで手掛ける6次産業化の支援	集落営農組織の支援	農地の集約による広域型農業の推進	農業生産法人の誘致	その他	無回答
全体		1151	39.3	38.1	35.8	27.6	26.9	22.7	20.6	19.9	19.5	2.4	5.3
性別	男性	415	36.6	35.4	30.8	27.7	30.4	21.4	26.0	23.9	21.7	2.9	4.1
	女性	500	41.8	40.8	37.6	28.6	23.2	23.2	15.4	17.8	17.6	2.2	5.8
年齢	20歳～29歳	92	59.8	38.0	34.8	32.6	23.9	21.7	8.7	13.0	18.5	2.2	2.2
	30歳～39歳	152	40.8	38.2	42.8	21.7	30.3	29.6	15.1	18.4	23.7	1.3	2.6
	40歳～49歳	155	43.9	40.6	33.5	27.1	29.7	25.2	18.1	18.1	14.2	3.9	3.9
	50歳～59歳	193	36.3	39.4	35.8	31.1	26.9	18.1	18.7	19.2	16.1	4.1	4.7
	60歳～69歳	256	35.2	31.6	36.3	26.6	31.3	25.8	25.0	25.0	20.7	0.4	3.5
	70歳以上	291	35.4	41.9	33.0	27.8	21.3	17.9	25.1	19.2	22.0	3.1	10.3
居住年数	5年未満	169	33.7	34.9	47.9	24.9	33.7	26.0	18.3	15.4	20.1	4.1	4.1
	5年以上10年未満	119	29.4	36.1	45.4	26.1	31.1	27.7	16.8	20.2	18.5	2.5	5.0
	10年以上20年未満	229	34.5	34.5	37.1	25.3	27.9	17.5	16.6	23.1	16.2	5.2	7.9
	20年以上30年未満	179	36.9	42.5	35.8	33.0	22.3	26.3	13.4	17.3	19.0	1.7	6.7
	30年以上	421	46.6	40.1	28.0	28.5	24.2	21.6	27.1	20.9	21.9	0.7	4.0

- 全体および属性の行ごとに、回答割合が最も高い項目を赤太字で表記しています。
- 全体と比較して強い傾向を示す項目を、全体と比較して弱い傾向を示す項目を で表記しています。

## 【問 11】 今後の観光振興について（MA）

### ① 回答者全体

- 最も多い回答は「森林や河川などを活用した自然に親しめる場の整備」（54.2%）となっています。次いで「宿泊施設や物産販売、飲食、観光案内、駐車場など受け入れサービス施設の整備」（34.3%）、「魅力ある観光ルートの設定や観光案内標識などの整備」（33.6%）と続いています。
- その他の回答として「遊歩道や自転車専用道の整備」、「公共交通機関の充実」、「市の魅力を伝えられる人材の育成」などがあります。



カテゴリ名	n	%
森林や河川などを活用した自然に親しめる場の整備	624	54.2
宿泊施設や物産販売、飲食、観光案内、駐車場など受け入れサービス施設の整備	395	34.3
魅力ある観光ルートの設定や観光案内標識などの整備	387	33.6
市外への観光PRや情報提供の強化	299	26.0
地域の資材を活用した特色ある料理、土産品の開発	274	23.8
地域性のある各種イベントや交流企画の充実	262	22.8
農林業体験型観光の施設整備や企画の充実	249	21.6
地域の歴史・文化の観光資源としての活用、整備	242	21.0
インバウンド観光(海外からの観光客)への取り組み	120	10.4
その他	37	3.2

## ② クロス集計

- 性別、年齢別、居住年数別のいずれにおいても、「森林や河川などを活用した自然に親しめる場の整備」の回答割合が最も高いです。
- 年齢別では、『20歳代』が「宿泊施設や物産販売、飲食、観光案内、駐車場など受け入れサービス施設の整備」を、『60歳代』が「農林業体験型観光の施設整備や企画の充実」を、『70歳以上』が「地域の歴史・文化の観光資源としての活用、整備」を重視する傾向が比較的強くなっています。

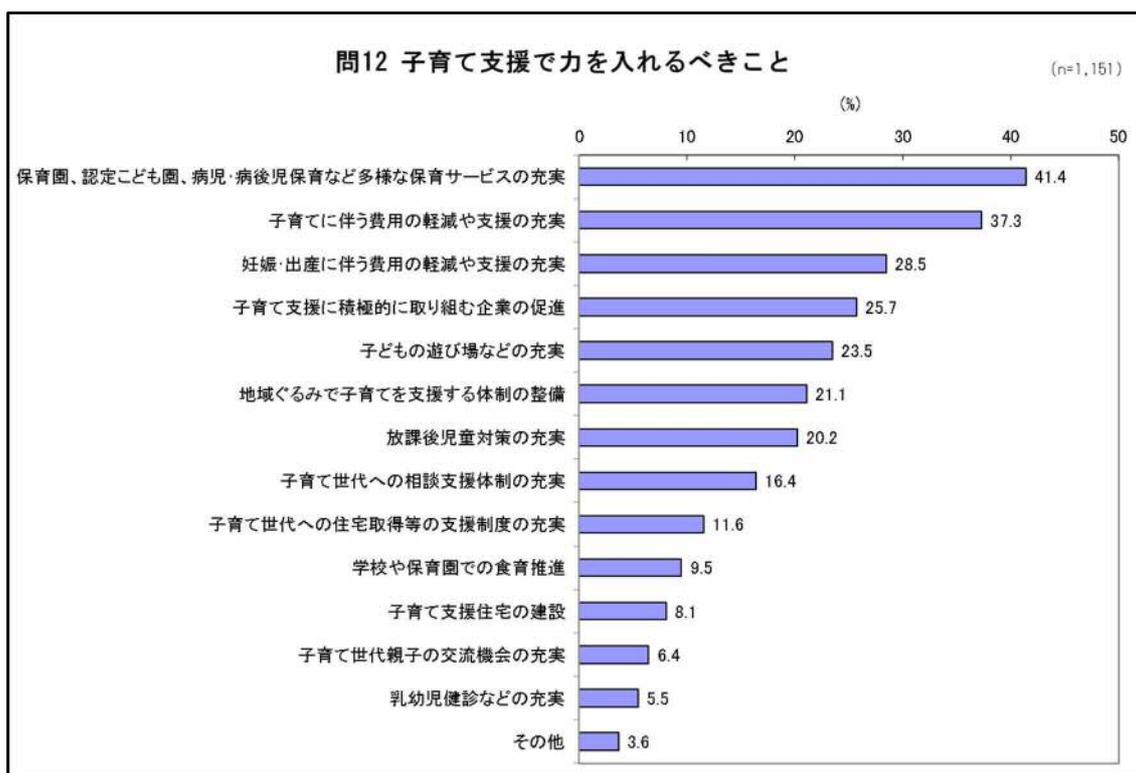
		問11. 観光・交流の振興について重要なこと											
		合計	森林や河川などを活用した自然に親しめる場の整備	宿泊施設や物産販売、飲食など受け入れサービス施設の整備	魅力ある観光ルートの設定や観光案内標識などの整備	市外への観光PRや情報提供の強化	地域のある料理、土産品の開発	地域性のある各種イベントや交流企画の充実	農林業体験型観光の施設整備や企画の充実	観光資源としての活用、整備	地域の歴史・文化の観光資源としての活用、整備	インバウンド観光（海外からの観光客）への取り組み	その他
全体		1151	54.2	34.3	33.6	26.0	23.8	22.8	21.6	21.0	10.4	3.2	5.4
性別	男性	415	55.7	33.3	30.8	27.7	24.6	20.2	21.9	23.6	12.3	4.1	4.1
	女性	500	53.6	33.0	34.0	24.4	22.4	24.4	22.4	20.4	8.0	2.2	6.2
年齢	20歳～29歳	92	55.4	50.0	37.0	27.2	26.1	22.8	18.5	5.4	14.1	5.4	1.1
	30歳～39歳	152	52.6	32.2	34.2	30.3	23.0	27.0	20.4	15.1	13.8	3.9	2.0
	40歳～49歳	155	59.4	33.5	34.8	25.2	24.5	25.8	18.1	16.1	12.9	2.6	3.2
	50歳～59歳	193	51.8	31.1	33.7	26.9	22.3	23.3	22.3	21.8	9.3	5.7	4.7
	60歳～69歳	256	54.7	36.3	33.2	28.1	20.7	20.3	26.2	23.0	9.0	2.3	5.5
	70歳以上	291	53.6	30.2	32.3	21.0	27.1	21.0	20.3	28.9	7.9	1.7	10.0
居住年数	5年未満	169	58.0	34.9	40.8	27.2	21.9	22.5	23.1	14.8	14.8	4.7	3.6
	5年以上10年未満	119	55.5	39.5	26.9	24.4	23.5	22.7	30.3	20.2	11.8	2.5	3.4
	10年以上20年未満	229	58.1	35.8	29.3	25.3	19.2	21.0	21.4	13.1	7.4	5.2	7.9
	20年以上30年未満	179	54.7	33.0	33.5	26.3	24.6	23.5	17.3	20.1	12.8	3.4	5.0
	30年以上	421	50.1	33.3	35.6	26.6	27.8	23.0	21.1	27.1	8.6	1.4	5.2

- 全体および属性の行ごとに、回答割合が最も高い項目を赤太字で表記しています。
- 全体と比較して強い傾向を示す項目を     、全体と比較して弱い傾向を示す項目を      で表記しています。

## 【問12】子育て支援について（MA）

### ① 回答者全体

- 最も多い回答は「保育園、認定こども園、病児・病後児保育など多様な保育サービスの充実」(41.4%)となっています。次いで「子育てに伴う費用の軽減や支援の充実」(37.3%)、「妊娠・出産に伴う費用の軽減や支援の充実」(28.5%)と続いています。
- その他の回答として「子どもの医療費無料期間を延長する」、「産婦人科の設置」、「小児科の充実」などがあります。



カテゴリ一名	n	%
保育園、認定こども園、病児・病後児保育など多様な保育サービスの充実	477	41.4
子育てに伴う費用の軽減や支援の充実	429	37.3
妊娠・出産に伴う費用の軽減や支援の充実	328	28.5
子育て支援に積極的に取り組む企業の促進	296	25.7
子どもの遊び場などの充実	270	23.5
地域ぐるみで子育てを支援する体制の整備	243	21.1
放課後児童対策の充実	233	20.2
子育て世代への相談支援体制の充実	189	16.4
子育て世代への住宅取得等の支援制度の充実	133	11.6
学校や保育園での食育推進	109	9.5
子育て支援住宅の建設	93	8.1
子育て世代親子の交流機会の充実	74	6.4
乳幼児健診などの充実	63	5.5
その他	42	3.6

② クロス集計

- 性別では、『女性』が「放課後児童対策の充実」を重視する傾向が比較的強くなっています。
- 年齢別では、『40歳代以下』が「子育てに伴う費用の軽減や支援の充実」の回答割合が最も高いです。また、『30歳代』、『40歳代』が「子どもの遊び場などの充実」を重視する傾向が比較的強くなっています。

		合計	問12. 子育て支援で力を入れるべきこと									
			多様な保育サービス の充実	子育て費用の軽減 や支援の充実	妊娠や出産費用の 軽減や支援の充実	子育て支援に取り 組む企業の促進	子どもの遊び場 などの充実	地域ぐるみで支援 する体制の整備	放課後児童対策の 充実	子育て世代への相 談支援体制の充実	子育て世代の住宅 取得等の支援充実	学校や保育園での 食育推進
全体		1151	41.4	37.3	28.5	25.7	23.5	21.1	20.2	16.4	11.6	9.5
性別	男性	415	42.4	38.8	29.6	25.8	18.6	20.7	17.6	16.9	13.5	10.1
	女性	500	42.2	37.2	27.0	25.4	25.0	22.2	23.4	15.8	9.8	11.0
年齢	20歳～29歳	92	41.3	48.9	37.0	28.3	31.5	12.0	15.2	15.2	7.6	9.8
	30歳～39歳	152	40.8	46.7	31.6	27.6	39.5	17.1	19.1	7.2	13.8	12.5
	40歳～49歳	155	37.4	39.4	29.0	23.2	35.5	15.5	29.0	10.3	10.3	11.0
	50歳～59歳	193	39.9	35.8	26.4	24.9	14.5	25.9	20.2	20.7	11.9	11.4
	60歳～69歳	256	47.3	34.4	29.7	24.6	12.9	24.6	20.7	18.8	10.9	7.0
	70歳以上	291	39.9	30.2	24.4	25.8	21.3	23.0	18.2	19.9	12.7	8.2
居住年数	5年未満	169	44.4	37.9	30.8	24.3	27.2	23.1	17.8	19.5	11.8	7.7
	5年以上10年未満	119	48.7	43.7	24.4	22.7	22.7	24.4	15.1	12.6	13.4	11.8
	10年以上20年未満	229	39.3	32.3	24.5	27.9	24.0	21.4	21.8	14.8	7.9	10.5
	20年以上30年未満	179	40.8	39.1	31.3	22.3	23.5	12.8	22.3	14.5	12.3	12.3
	30年以上	421	39.7	36.3	30.4	27.8	21.9	24.0	21.1	18.5	11.9	8.1

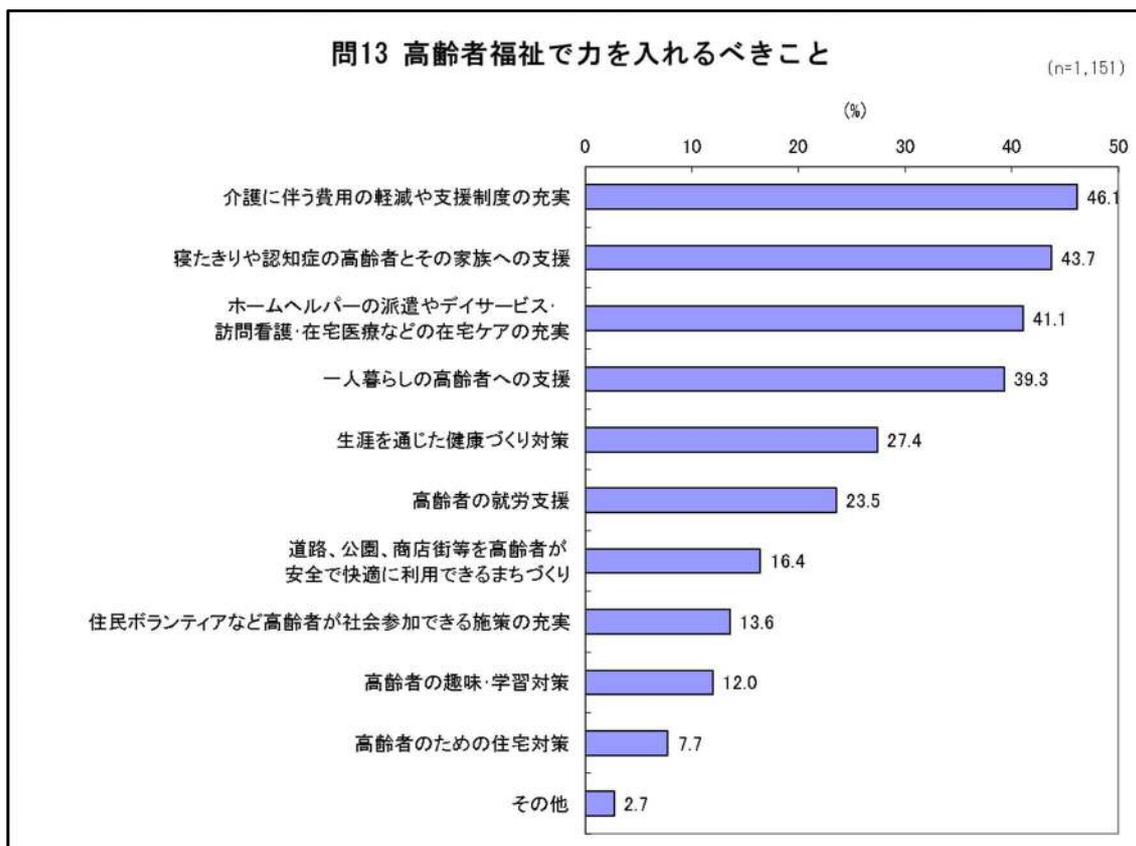
		合計	問12. 子育て支援で力を入れるべきこと				
			子育て支援住宅の 建設	子育て世代親子の 交流機会の充実	乳幼児健診などの 充実	その他	無回答
全体		1151	8.1	6.4	5.5	3.6	5.2
性別	男性	415	8.7	6.0	5.8	2.9	4.8
	女性	500	6.8	6.6	5.0	4.6	4.8
年齢	20歳～29歳	92	8.7	8.7	5.4	3.3	1.1
	30歳～39歳	152	5.3	5.9	2.6	3.3	0.0
	40歳～49歳	155	7.1	5.8	2.6	4.5	2.6
	50歳～59歳	193	9.3	4.1	3.6	5.7	3.6
	60歳～69歳	256	7.8	7.8	7.4	3.5	5.9
	70歳以上	291	8.6	6.9	7.9	2.4	11.0
居住年数	5年未満	169	7.1	8.3	3.6	5.9	3.6
	5年以上10年未満	119	8.4	2.5	4.2	1.7	5.0
	10年以上20年未満	229	5.7	9.2	4.8	4.8	7.0
	20年以上30年未満	179	10.1	6.1	6.7	2.8	4.5
	30年以上	421	8.6	5.9	6.4	2.9	4.8

- 全体および属性の行ごとに、回答割合が最も高い項目を赤太字で表記しています。
- 全体と比較して強い傾向を示す項目を     、全体と比較して弱い傾向を示す項目を      で表記しています。

## 【問 13】 高齢者福祉について (MA)

### ① 回答者全体

- 最も多い回答は「介護に伴う費用の軽減や支援制度の充実」(46.1%)となっています。次いで「寝たきりや認知症の高齢者とその家族への支援」(43.7%)、「ホームヘルパーの派遣やデイサービス・訪問看護・在宅医療などの在宅ケアの充実」(41.1%)と続いています。
- その他の回答として「デマンド交通の充実」、「高齢者の交流の場を増やす」、「介護施設を増やす」、「地域包括ケアシステムの推進」などがあります。



カテゴリー名	n	%
介護に伴う費用の軽減や支援制度の充実	531	46.1
寝たきりや認知症の高齢者とその家族への支援	503	43.7
ホームヘルパーの派遣やデイサービス・訪問看護・在宅医療などの在宅ケアの充実	473	41.1
一人暮らしの高齢者への支援	452	39.3
生涯を通じた健康づくり対策	315	27.4
高齢者の就労支援	271	23.5
道路、公園、商店街等が高齢者が安全で快適に利用できるまちづくり	189	16.4
住民ボランティアなど高齢者が社会参加できる施策の充実	156	13.6
高齢者の趣味・学習対策	138	12.0
高齢者のための住宅対策	89	7.7
その他	31	2.7

## ② クロス集計

- 性別では、『男性』が「高齢者の就労支援」を重視する傾向が比較的強くなっています。
- 年齢別では、『40歳代以下』が「寝たきりや認知症の高齢者とその家族への支援」の回答割合が最も高いです。また、『20歳代』が「一人暮らしの高齢者への支援」を、『70歳以上』が「生涯を通じた健康づくり対策」を重視する傾向が比較的強くなっています。

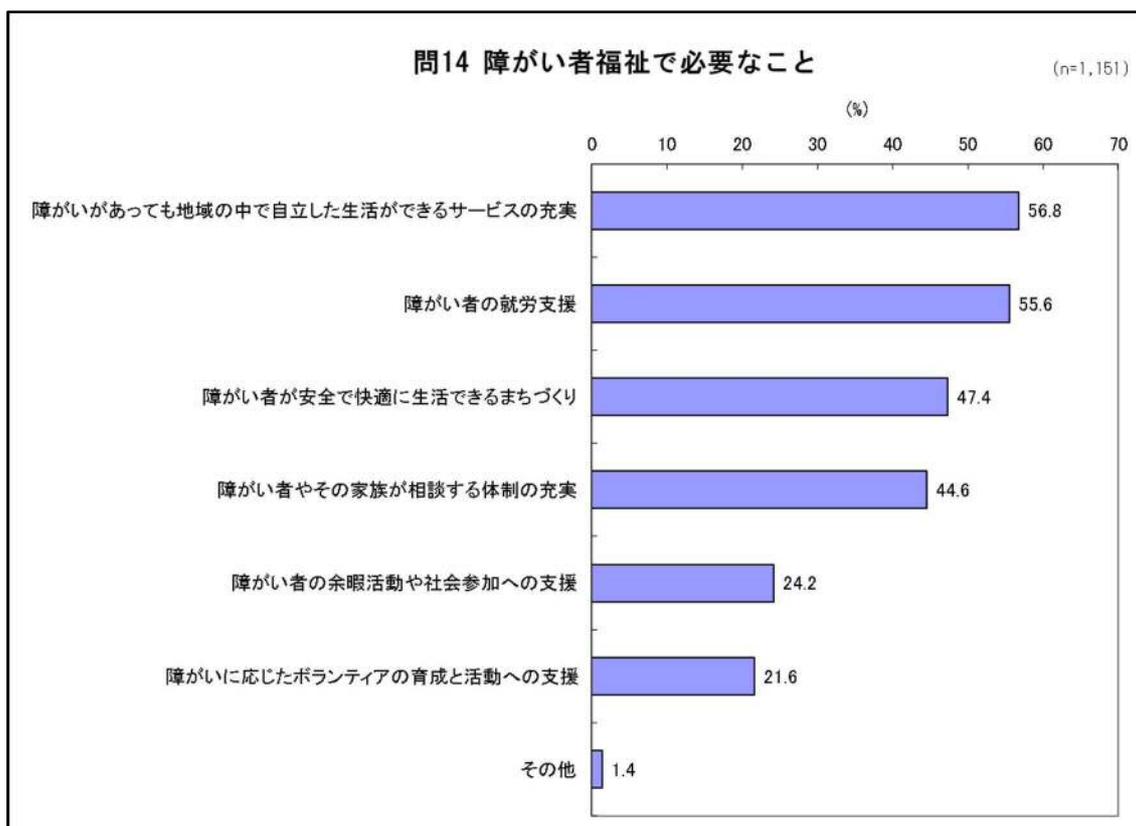
		合計	問13. 高齢者福祉で力を入れるべきこと											
			介護に伴う費用の軽減や支援制度の充実	寝たきりや認知症の高齢者と家族への支援	ヘルパー派遣や在宅医療など在宅ケアの充実	高齢者への支援	一人暮らしの高齢者への支援	生涯を通じた健康づくり対策	高齢者の就労支援	道路、公園等を安全で快適に利用できるまちづくり	ボランティアなど高齢者が社会参加できる施策の充実	高齢者の趣味・学習対策	高齢者のための住宅対策	その他
全体		1151	46.1	43.7	41.1	39.3	27.4	23.5	16.4	13.6	12.0	7.7	2.7	3.0
性別	男性	415	49.2	42.9	39.5	35.4	28.4	28.0	16.1	12.0	10.6	7.5	1.9	2.7
	女性	500	44.6	45.0	43.6	41.6	27.4	19.2	16.6	14.0	14.0	8.0	2.6	2.6
年齢	20歳～29歳	92	32.6	51.1	30.4	50.0	26.1	22.8	19.6	8.7	15.2	15.2	2.2	1.1
	30歳～39歳	152	42.8	48.0	42.8	39.5	20.4	30.9	23.0	15.8	7.9	7.9	2.6	0.0
	40歳～49歳	155	43.2	45.8	38.7	34.2	21.9	28.4	17.4	14.8	8.4	12.3	4.5	1.9
	50歳～59歳	193	49.7	44.6	45.1	40.9	23.8	24.9	12.4	10.9	11.9	7.8	2.6	3.1
	60歳～69歳	256	49.2	45.3	38.3	38.7	29.7	24.6	14.1	16.0	14.5	4.7	2.3	2.7
	70歳以上	291	48.8	36.1	44.7	37.1	34.7	15.5	16.5	12.4	13.4	5.5	2.4	5.8
居住年数	5年未満	169	34.9	35.5	43.8	36.1	23.7	27.2	21.9	19.5	14.8	10.7	4.7	3.0
	5年以上10年未満	119	46.2	47.1	39.5	35.3	26.9	26.9	17.6	15.1	13.4	10.9	2.5	1.7
	10年以上20年未満	229	46.7	39.3	43.2	42.4	26.6	25.3	14.8	9.6	6.1	9.6	4.8	3.9
	20年以上30年未満	179	43.0	52.0	36.9	46.9	22.3	22.9	15.6	10.6	12.3	7.8	2.2	2.2
	30年以上	421	52.0	45.6	41.1	36.8	32.1	20.4	15.0	13.8	13.8	5.0	0.7	3.1

- 全体および属性の行ごとに、回答割合が最も高い項目を赤太字で表記しています。
- 全体と比較して強い傾向を示す項目を     、全体と比較して弱い傾向を示す項目を      で表記しています。

## 【問 14】 障がい者福祉について (MA)

### ① 回答者全体

- ・ 最も多い回答は「障がいがあっても地域の中で自立した生活ができるサービスの充実」(56.8%)となっています。次いで「障がい者の就労支援」(55.6%)、「障がい者が安全で快適に生活できるまちづくり」(47.4%)と続いています。
- ・ その他の回答として「障がい者を雇用する企業への支援」、「障がい者に対する正しい理解やサポート方法の知識、実践方法の普及」、「道路のバリアフリー拡張や標示の整備」などがあります。



カテゴリー名	n	%
障がいがあっても地域の中で自立した生活ができるサービスの充実	654	56.8
障がい者の就労支援	640	55.6
障がい者が安全で快適に生活できるまちづくり	545	47.4
障がい者やその家族が相談する体制の充実	513	44.6
障がい者の余暇活動や社会参加への支援	279	24.2
障がいに応じたボランティアの育成と活動への支援	249	21.6
その他	16	1.4

## ② クロス集計

- ・ 年齢別では、『30歳代』が「障がい者の就労支援」を、『70歳以上』が「障がい者が安全で快適に生活できるまちづくり」を重視する傾向が比較的強くなっています。
- ・ 居住年数別では、『10年未満』が「障がい者の就労支援」の回答割合が最も高いです。また、『30年以上』が「障がい者やその家族が相談する体制の充実」を重視する傾向が比較的強くなっています。

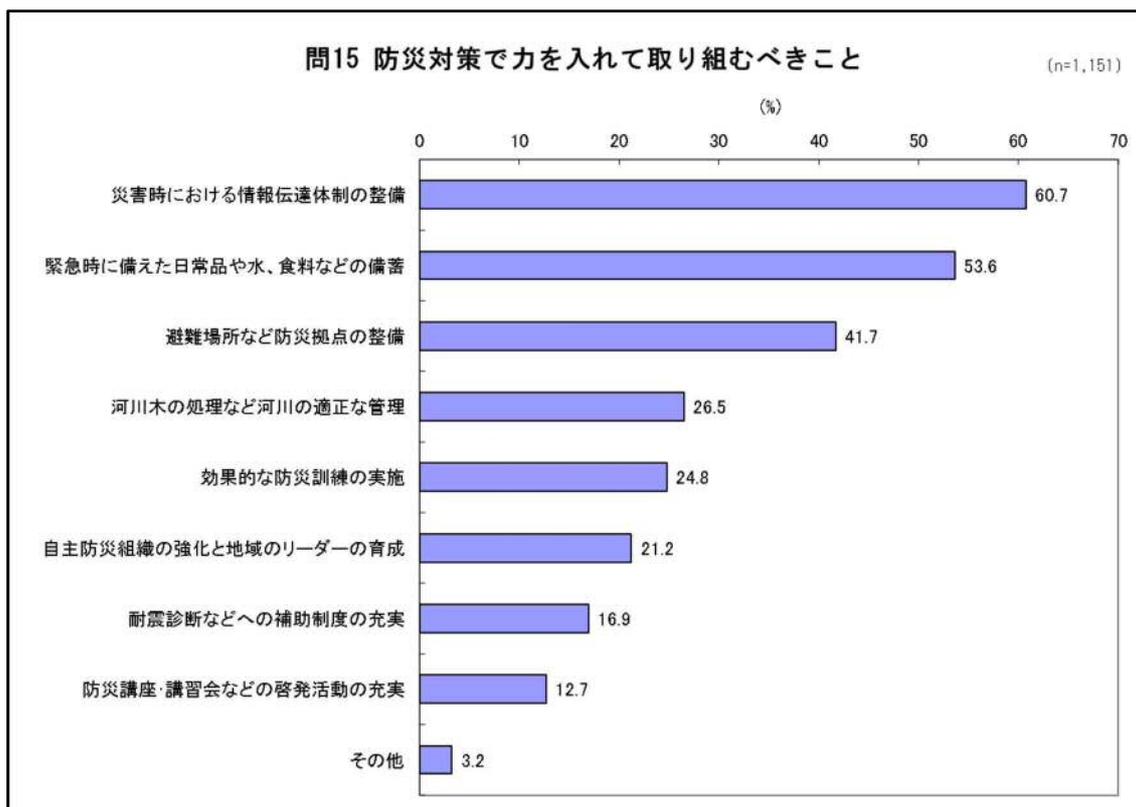
		合計	問14. 障がい者福祉に必要なこと							その他	無回答
			障がい者があっても地域で生活できるサービスの充実	障がい者の就労支援	障がい者が安全で快適に生活できるまちづくり	障がい者やその家族が相談する体制の充実	障がい者の余暇活動や社会参加への支援	障がいに応じたボランティアの育成と活動への支援			
全体		1151	56.8	55.6	47.4	44.6	24.2	21.6	1.4	4.1	
性別	男性	415	53.0	51.6	46.0	46.7	26.3	19.8	1.9	3.4	
	女性	500	58.4	58.6	48.8	44.2	21.4	23.2	1.0	3.4	
年齢	20歳～29歳	92	54.3	54.3	46.7	45.7	23.9	18.5	1.1	1.1	
	30歳～39歳	152	50.7	71.1	46.7	34.9	28.9	22.4	0.7	0.7	
	40歳～49歳	155	59.4	57.4	49.0	38.7	21.3	21.9	1.9	1.9	
	50歳～59歳	193	58.0	57.0	43.0	48.2	20.7	20.2	1.0	4.1	
	60歳～69歳	256	64.5	56.6	41.4	46.1	24.2	24.6	1.2	3.5	
	70歳以上	291	52.9	45.4	54.3	47.8	25.8	20.3	1.7	8.2	
居住年数	5年未満	169	56.8	62.1	46.2	36.7	24.3	22.5	2.4	3.0	
	5年以上10年未満	119	63.9	67.2	42.0	36.1	25.2	19.3	0.0	4.2	
	10年以上20年未満	229	57.6	52.0	45.9	45.0	18.3	21.4	1.7	5.7	
	20年以上30年未満	179	58.7	53.1	49.7	43.0	26.3	20.1	1.7	3.4	
	30年以上	421	53.7	52.5	49.4	50.6	26.8	22.8	1.0	3.6	

- ・ 全体および属性の行ごとに、回答割合が最も高い項目を赤太字で表記しています。
- ・ 全体と比較して強い傾向を示す項目を     、全体と比較して弱い傾向を示す項目を      で表記しています。

## 【問 15】 防災対策について (MA)

### ① 回答者全体

- 最も多い回答は「災害時における情報伝達体制の整備」(60.7%)となっています。次いで「緊急時に備えた日用品や水、食料などの備蓄」(53.6%)、「避難場所など防災拠点の整備」(41.7%)と続いています。
- その他の回答として「除雪対策の充実」、「ハザードマップの配布・周知」、「災害時に受けられる支援の情報」、「防災拠点での避難訓練の実施」などがあります。



カテゴリー名	n	%
災害時における情報伝達体制の整備	699	60.7
緊急時に備えた日用品や水、食料などの備蓄	617	53.6
避難場所など防災拠点の整備	480	41.7
河川木の処理など河川の適正な管理	305	26.5
効果的な防災訓練の実施	285	24.8
自主防災組織の強化と地域のリーダーの育成	244	21.2
耐震診断などへの補助制度の充実	195	16.9
防災講座・講習会などの啓発活動の充実	146	12.7
その他	37	3.2

## ② クロス集計

- 年齢別では、『30歳代』が「緊急時に備えた日用品や水、食料などの備蓄」の回答割合が最も高いです。また、『20歳代』が「避難場所など防災拠点の整備」を、『60歳以上』が「自主防災組織の強化と地域のリーダーの育成」を重視する傾向が比較的強くなっています。

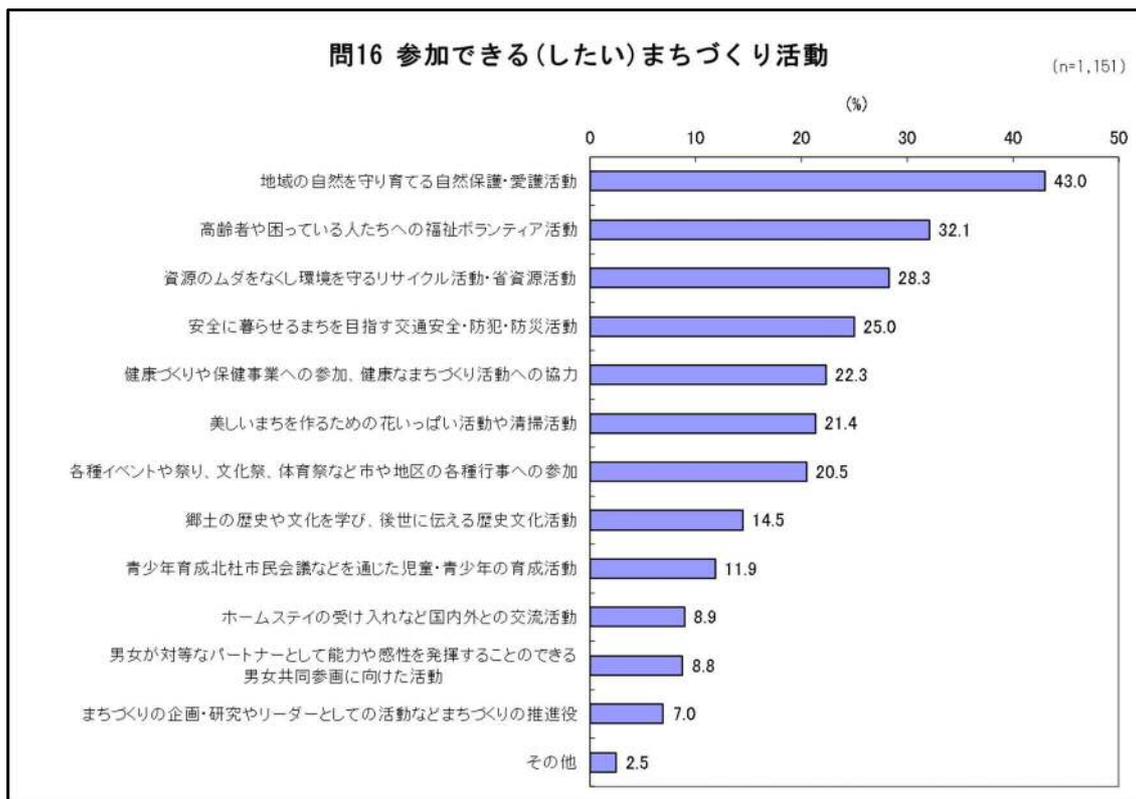
		合計	問15. 防災対策で力を入れて取り組むべきこと									
			情報伝達体制の整備 災害時における	緊急時に備えた日用品 や水、食料などの備蓄	避難場所など 防災拠点の整備	河川木の 適正な管理	効果的な防災訓練の 実施	自主防災組織の強化と 地域のリーダーの育成	耐震診断などへの 補助制度の充実	防災講座・講習会など 啓発活動の充実	その他	無回答
全体		1151	60.7	53.6	41.7	26.5	24.8	21.2	16.9	12.7	3.2	3.7
性別	男性	415	56.4	51.8	39.0	25.8	23.4	21.7	16.4	15.2	4.6	3.6
	女性	500	67.0	56.0	43.4	24.6	24.4	19.8	16.6	10.6	2.0	3.6
年齢	20歳～29歳	92	64.1	59.8	53.3	19.6	23.9	14.1	23.9	8.7	2.2	1.1
	30歳～39歳	152	61.2	64.5	46.7	17.8	25.7	13.2	20.4	12.5	3.9	0.7
	40歳～49歳	155	61.3	60.0	46.5	28.4	22.6	14.2	19.4	11.6	3.2	1.9
	50歳～59歳	193	65.3	51.3	39.4	26.4	20.2	19.7	13.0	11.9	3.1	3.1
	60歳～69歳	256	62.5	48.8	40.6	30.9	27.3	26.6	13.3	14.1	3.9	3.1
	70歳以上	291	55.0	48.8	35.7	27.5	25.1	27.8	17.9	14.1	2.7	7.9
居住年数	5年未満	169	66.3	60.4	42.6	30.2	18.3	15.4	18.3	9.5	7.1	2.4
	5年以上10年未満	119	71.4	53.8	44.5	28.6	24.4	20.2	13.4	9.2	5.0	1.7
	10年以上20年未満	229	62.4	52.0	38.4	23.1	19.2	16.6	16.6	10.9	3.9	7.0
	20年以上30年未満	179	67.6	57.5	48.0	20.1	21.8	16.8	17.3	11.2	0.6	3.4
	30年以上	421	53.7	50.4	40.1	27.6	30.9	29.0	18.1	16.2	1.9	2.9

- 全体および属性の行ごとに、回答割合が最も高い項目を赤太字で表記しています。
- 全体と比較して強い傾向を示す項目を、全体と比較して弱い傾向を示す項目を で表記しています。

## 【問16】参加できる(したい)まちづくり活動について (MA)

### ① 回答者全体

- 最も多い回答は「地域の自然を守り育てる自然保護・愛護活動」(43.0%)となっています。次いで「高齢者や困っている人たちへの福祉ボランティア活動」(32.1%)、「資源のムダをなくし環境を守るリサイクル活動・省資源活動」(28.3%)と続いています。
- その他の回答として「英語教育促進活動」、「小学校での朗読会」、「情報技術教育」などがあります。



カテゴリー名	n	%
地域の自然を守り育てる自然保護・愛護活動	495	43.0
高齢者や困っている人たちへの福祉ボランティア活動	370	32.1
資源のムダをなくし環境を守るリサイクル活動・省資源活動	326	28.3
安全に暮らせるまちを目指す交通安全・防犯・防災活動	288	25.0
健康づくりや保健事業への参加、健康なまちづくり活動への協力	257	22.3
美しいまちを作るための花いっぱい活動や清掃活動	246	21.4
各種イベントや祭り、文化祭、体育祭など市や地区の各種行事への参加	236	20.5
郷土の歴史や文化を学び、後世に伝える歴史文化活動	167	14.5
青少年育成北杜市民会議などを通じた児童・青少年の育成活動	137	11.9
ホームステイの受け入れなど国内外との交流活動	103	8.9
男女が対等なパートナーとして能力や感性を発揮することのできる男女共同参画に向けた活動	101	8.8
まちづくりの企画・研究やリーダーとしての活動などまちづくりの推進役	80	7.0
その他	29	2.5

## ② クロス集計

- 性別では、『男性』が「郷土の歴史や文化を学び、後世に伝える歴史文化活動」を、『女性』が「美しいまちを作るための花いっぱい活動や清掃活動」を重視する傾向が比較的強くなっています。
- 年齢別では、『30歳代以下』が「各種イベントや祭り、文化祭、体育祭など市や地区の各種行事への参加」、「ホームステイの受け入れなど国内外との交流活動」を、『60歳以上』が「健康づくりや保健事業への参加、健康なまちづくり活動への協力」を重視する傾向が比較的強くなっています。
- 居住年数別では、『5年未満』が「各種イベントや祭り、文化祭、体育祭など市や地区の各種行事への参加」、「ホームステイの受け入れなど国内外との交流活動」、「まちづくりの企画・研究やリーダーとしての活動などまちづくりの推進役」等を重視する傾向が比較的強くなっています。

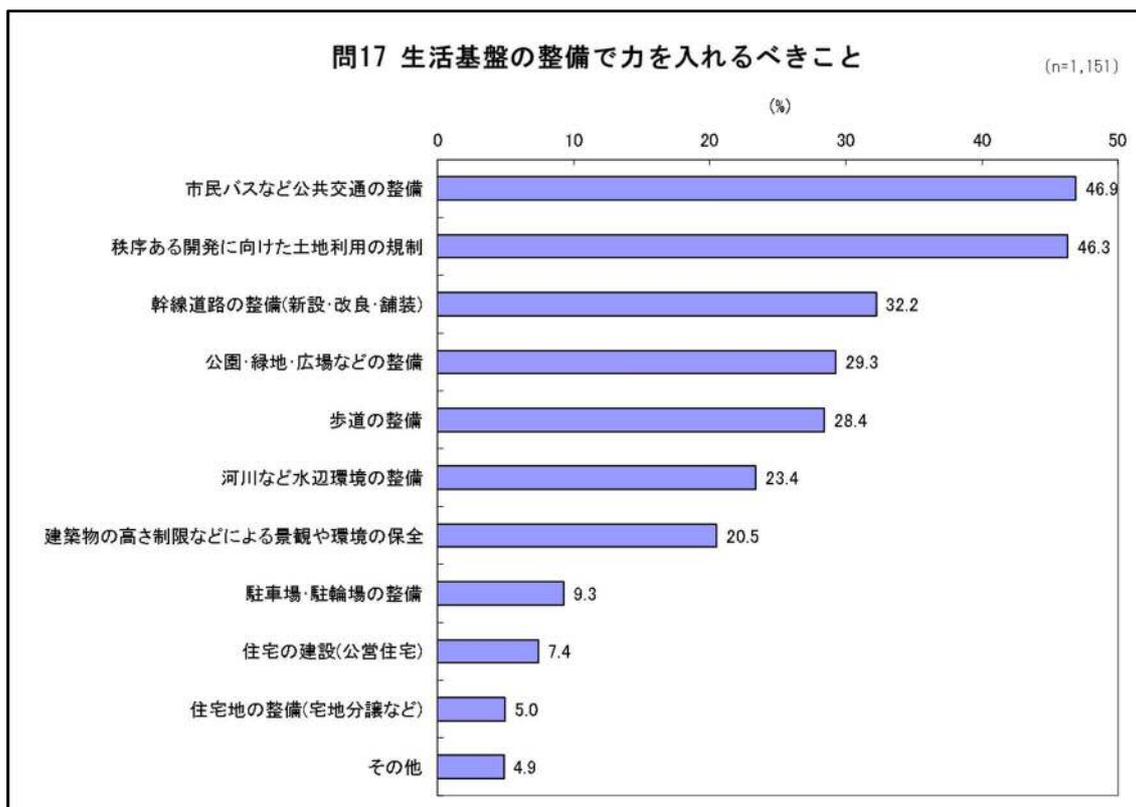
		問16. 参加できる(したい)まちづくり活動														
		合計	地域の自然を守り育てる自然保護・愛護活動	高齢者や困っている人たちに福祉ボランティア活動	環境を守るリサイクル活動・省資源活動	安全に暮らせるまちを目指す交通安全・防犯・防災活動	健康づくりなどへの参加、健康なまちづくり活動への協力	花いっぱい活動や清掃活動	美しいまちを作るための市や地区の各種行事への参加	各種イベントや祭りなどの参加	郷土の歴史や文化を学び、後世に伝える歴史文化活動	青少年育成北社市民会議など児童・青少年の育成活動	ホームステイの受け入れなど国内外との交流活動	男女が対等なパートナーとなる男女共同参画に向けた活動	まちづくり企画やリーダー活動などまちづくりの推進役	その他
全体		1151	43.0	32.1	28.3	25.0	22.3	21.4	20.5	14.5	11.9	8.9	8.8	7.0	2.5	4.4
性別	男性	415	43.4	28.0	24.6	28.0	19.5	17.1	20.5	18.8	10.6	9.6	9.9	8.4	3.4	4.8
	女性	500	41.6	35.0	31.0	22.8	23.2	25.4	21.2	11.8	11.8	8.2	7.2	6.6	1.4	4.2
年齢	20歳～29歳	92	38.0	30.4	29.3	28.3	15.2	19.6	37.0	10.9	14.1	18.5	8.7	5.4	0.0	1.1
	30歳～39歳	152	40.1	23.7	29.6	27.6	13.2	17.1	28.3	9.2	14.5	15.1	9.2	8.6	2.0	2.6
	40歳～49歳	155	49.7	27.7	27.7	25.8	17.4	16.1	21.9	12.9	15.5	9.7	11.0	8.4	2.6	3.2
	50歳～59歳	193	42.5	30.6	22.8	25.9	20.2	20.7	18.7	14.5	10.4	8.3	7.8	9.8	4.1	3.6
	60歳～69歳	256	48.4	36.3	30.9	21.1	29.7	21.1	16.4	18.8	10.9	5.1	8.2	5.9	2.3	3.9
	70歳以上	291	37.8	36.4	29.2	25.4	26.8	27.1	15.5	15.8	10.3	6.5	7.9	4.5	2.7	7.9
居住年数	5年未満	169	54.4	28.4	27.2	20.1	14.2	18.3	26.6	13.6	13.0	17.8	8.3	10.7	3.0	1.8
	5年以上10年未満	119	52.9	23.5	31.1	20.2	13.4	20.2	16.8	15.1	12.6	11.8	9.2	6.7	4.2	4.2
	10年以上20年未満	229	45.4	32.8	28.4	21.0	21.0	15.7	18.8	13.5	9.6	9.2	5.7	7.9	2.6	6.1
	20年以上30年未満	179	39.1	34.6	26.3	26.8	22.9	23.5	24.6	9.5	10.1	8.4	10.6	5.6	1.1	4.5
	30年以上	421	36.8	34.0	29.0	30.2	28.5	25.2	18.5	17.8	12.6	5.0	10.0	5.7	1.9	4.5

- 全体および属性の行ごとに、回答割合が最も高い項目を赤太字で表記しています。
- 全体と比較して強い傾向を示す項目を     、全体と比較して弱い傾向を示す項目を      で表記しています。

## 【問 17】生活基盤の整備について (MA)

### ① 回答者全体

- 最も多い回答は「市民バスなど公共交通の整備」(46.9%)となっています。次いで「秩序ある開発に向けた土地利用の規制」(46.3%)、「幹線道路の整備(新設・改良・舗装)」(32.2%)と続いています。
- その他の回答として「空き家の有効活用」、「公営トイレの充実」、「駅周辺の利用環境の整備」、「太陽光発電設備の計画的な整備」などがあります。



カテゴリー名	n	%
市民バスなど公共交通の整備	540	46.9
秩序ある開発に向けた土地利用の規制	533	46.3
幹線道路の整備(新設・改良・舗装)	371	32.2
公園・緑地・広場などの整備	337	29.3
歩道の整備	327	28.4
河川など水辺環境の整備	269	23.4
建築物の高さ制限などによる景観や環境の保全	236	20.5
駐車場・駐輪場の整備	107	9.3
住宅の建設(公営住宅)	85	7.4
住宅地の整備(宅地分譲など)	57	5.0
その他	56	4.9

## ② クロス集計

- 性別では、『男性』が「幹線道路の整備(新設・改良・舗装)」を、『女性』が「歩道の整備」を重視する傾向が比較的強くなっています。
- 年齢別では、『30歳代以下』が「公園・緑地・広場などの整備」の、『50歳代』、『60歳代』が「秩序ある開発に向けた土地利用の規制」の回答割合が最も高いです。また、『20歳代』が「駐車場・駐輪場の整備」を、『70歳代』が「河川など水辺環境の整備」を重視する傾向が比較的強くなっています。

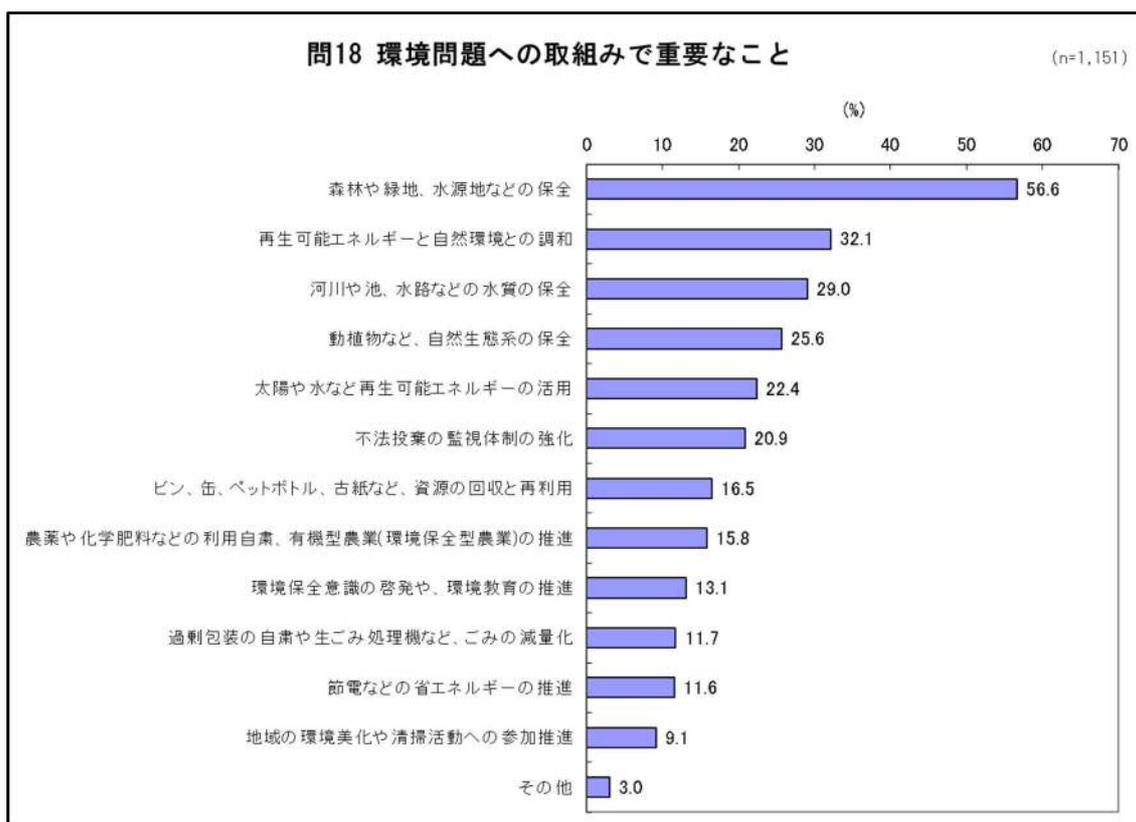
		合計	問17. 生活基盤の整備で力を入れるべきこと											
			市民バスなど公共交通の整備	秩序ある開発に向けた土地利用の規制	(新設・改良・舗装) 幹線道路の整備	公園・緑地・広場などの整備	歩道の整備	水辺環境の整備 河川など	建築物の高さ制限など 景観や環境の保全	駐車場・駐輪場の整備	(公営住宅) 住宅の建設	(宅地分譲など) 住宅地の整備	その他	無回答
全体		1151	46.9	46.3	32.2	29.3	28.4	23.4	20.5	9.3	7.4	5.0	4.9	3.6
性別	男性	415	42.9	47.0	38.3	27.5	24.3	26.5	21.7	9.2	6.7	5.3	5.8	2.7
	女性	500	49.6	47.0	27.4	29.2	32.0	19.6	20.2	9.2	7.8	4.2	3.8	4.4
年齢	20歳～29歳	92	41.3	30.4	35.9	45.7	28.3	22.8	13.0	15.2	12.0	5.4	4.3	1.1
	30歳～39歳	152	40.1	42.1	32.2	44.7	28.9	14.5	21.7	6.6	8.6	8.6	5.3	1.3
	40歳～49歳	155	47.1	42.6	35.5	32.9	31.6	16.1	18.7	9.0	7.7	5.2	6.5	2.6
	50歳～59歳	193	47.7	50.3	31.6	21.8	25.9	22.8	23.8	10.4	5.7	4.7	4.1	2.1
	60歳～69歳	256	49.2	59.8	26.6	23.8	27.3	27.0	23.4	6.6	7.0	4.7	5.5	3.5
	70歳以上	291	49.1	41.9	33.7	23.0	29.6	28.9	18.9	10.7	6.9	3.1	4.1	7.2
居住年数	5年未満	169	49.7	46.2	23.7	32.0	30.8	17.2	25.4	8.3	11.2	5.3	8.9	3.6
	5年以上10年未満	119	51.3	57.1	25.2	27.7	25.2	19.3	30.3	4.2	4.2	1.7	7.6	2.5
	10年以上20年未満	229	56.8	45.9	27.9	28.4	26.6	17.5	20.5	10.5	5.2	3.1	6.1	3.9
	20年以上30年未満	179	43.0	40.2	30.2	30.2	30.7	26.3	18.4	12.8	7.8	6.7	1.7	3.4
	30年以上	421	39.4	47.0	40.1	29.2	28.3	28.3	17.6	9.0	7.8	5.7	3.3	3.8

- 全体および属性の行ごとに、回答割合が最も高い項目を赤太字で表記しています。
- 全体と比較して強い傾向を示す項目を  、全体と比較して弱い傾向を示す項目を   で表記しています。

## 【問18】環境保全について（MA）

### ① 回答者全体

- 最も多い回答は「森林や緑地、水源地などの保全」（56.6%）と過半数を占めています。次いで「再生可能エネルギーと自然環境との調和」（32.1%）、「河川や池、水路などの水質の保全」（29.0%）と続いています。
- その他の回答として「有害動植物の駆除対策の強化」、「安全な水源地の確保」、「太陽光発電設備等の建設抑制」、「木質バイオマス発電の導入」などがあります。



カテゴリー名	n	%
森林や緑地、水源地などの保全	652	56.6
再生可能エネルギーと自然環境との調和	370	32.1
河川や池、水路などの水質の保全	334	29.0
動植物など、自然生態系の保全	295	25.6
太陽や水など再生可能エネルギーの活用	258	22.4
不法投棄の監視体制の強化	240	20.9
ビン、缶、ペットボトル、古紙など、資源の回収と再利用	190	16.5
農薬や化学肥料などの利用自粛、有機型農業(環境保全型農業)の推進	182	15.8
環境保全意識の啓発や、環境教育の推進	151	13.1
過剰包装の自粛や生ごみ処理機など、ごみの減量化	135	11.7
節電などの省エネルギーの推進	133	11.6
地域の環境美化や清掃活動への参加推進	105	9.1
その他	35	3.0

## ② クロス集計

- 性別、年齢別、居住年数別のいずれにおいても、「森林や緑地、水源地などの保全」の回答割合が最も高いです。
- 性別では、『女性』が「動植物など、自然生態系の保全」を重視する傾向が比較的強くなっています。
- 年齢別では、『20歳代』が「動植物など、自然生態系の保全」、「ビン、缶、ペットボトル、古紙など、資源の回収と再利用」を重視する傾向が比較的強くなっています。

		問18. 環境問題への取組みで重要なこと														
		合計	水源地などの保全 森林や緑地、 自然環境との調和 再生可能エネルギーと	河川や池、水路などの 水質の保全	動植物など、 自然生態系の保全	再生可能エネルギーの活用	太陽や水など	不法投棄の監視体制の強化	ビン、缶、古紙など、 資源の回収と再利用	農業や化学肥料などの利用 自給、有機型農業の推進	環境保全意識の啓発や、 環境教育の推進	過剰包装の自粛や生ごみ処理機など、ごみの減量化	節電などの省エネルギーの 推進	地域の環境美化や 清掃活動への参加推進	その他	無回答
全体		1151	56.6	32.1	29.0	25.6	22.4	20.9	16.5	15.8	13.1	11.7	11.6	9.1	3.0	3.7
性別	男性	415	53.0	33.3	30.1	25.5	24.1	21.9	15.9	14.7	14.0	11.3	10.1	11.1	3.1	4.1
	女性	500	58.6	30.4	28.0	29.4	22.2	18.4	17.2	14.6	11.8	13.0	13.2	7.2	2.8	3.4
年齢	20歳～29歳	92	57.6	19.6	31.5	35.9	21.7	19.6	27.2	12.0	9.8	9.8	17.4	5.4	1.1	1.1
	30歳～39歳	152	57.9	33.6	25.7	27.0	23.7	17.8	14.5	17.8	12.5	11.8	15.8	9.9	2.0	0.7
	40歳～49歳	155	64.5	35.5	29.7	23.9	21.9	20.0	13.5	12.3	15.5	9.7	11.6	5.2	1.9	3.9
	50歳～59歳	193	56.5	32.6	28.0	34.2	21.8	22.8	11.4	16.6	9.3	9.3	8.8	6.7	3.6	3.6
	60歳～69歳	256	56.3	36.3	32.8	25.4	19.5	21.5	12.5	15.2	15.2	12.1	10.5	9.4	5.1	3.5
	70歳以上	291	51.9	30.2	26.5	17.9	24.4	21.3	21.6	18.2	14.1	15.1	10.7	13.1	2.7	6.2
居住年数	5年未満	169	65.1	36.1	30.8	29.6	21.9	14.8	14.2	29.0	13.0	8.9	7.1	4.1	4.7	1.8
	5年以上10年未満	119	55.5	34.5	29.4	35.3	19.3	16.0	12.6	17.6	10.1	11.8	16.8	6.7	5.9	1.7
	10年以上20年未満	229	57.2	35.4	23.6	27.5	15.7	18.8	11.4	16.6	14.4	13.5	12.7	7.0	3.5	6.1
	20年以上30年未満	179	62.0	26.8	25.7	30.2	21.8	25.7	20.1	15.6	11.2	7.8	9.5	10.6	1.1	2.2
	30年以上	421	50.8	30.4	32.1	18.3	27.1	24.2	19.7	10.0	13.8	14.3	12.6	12.8	2.1	4.0

- 全体および属性の行ごとに、回答割合が最も高い項目を赤太字で表記しています。
- 全体と比較して強い傾向を示す項目を     、全体と比較して弱い傾向を示す項目を      で表記しています。